

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

児童数 1083名

令和8年8月31日号



学校こそ地域に貢献する存在になる

校長 小島 孝之 こじま たかし

8月末とはいえ、まだまだ厳しい暑さが続いています但本日から2学期が始まりました。大きなけがや事故がなく本日を迎えることができ、大変うれしく思っております。

さて、話は夏休みのこととなりますが、8月1日の彩夏祭において、本校の子供たちが鳴子踊りの演舞を行いました。私も応援をさせていただきましたが、猛暑の中、子供たちが実に生き生きと、楽しく踊っている姿を見て、心から感動するとともにたくさんのエネルギーをもらいました。

代表者の渡邊 直仁 様を中心に練習を重ね、当日は沿道につめかけた多くの観客の前で、見事に力を発揮した子供たちに大きな拍手を送りたいと思います。そして、ご指導をいただいた方々や保護者の皆様にも感謝申し上げます。

昨年は、抽選を行い100名に絞らせていただきましたが、今年度は申し込みをしてくれた約140人が全員参加できるように練習方法や時間などを工夫してくださり、当日を迎えることができました。子供たちは貴重な経験ができたと思います。ありがとうございました。また、本校からも6名の教員が踊り手として参加いたしました。



11月28日(土)一中校区ふれあいまつりを本校で行います

私は常々、学校は「してもら側」だけではなく、「なにか地域に貢献できることはないのか」ということを考えています。学校と地域がWIN WINの関係をつくらなければ一方的な関係となってしまう、協力関係は長く続かないと思っているからです。今月実施した第3回学校運営協議会では、学校運営協議会委員や学校応援団の方々、民生委員の方々と本校教員43名が5つのグループに分かれて、地域と学校がプラスの関係になるにはどうしたらよいのか真剣に熟議を重ねました。

また、今後、変化が激しく予測困難な未来が来ることが予想される中、学校だけでなく地域社会全体で子供を育てていくことが求められています。学校が地域に貢献するということは、子供たちが地域とつながることになります。「地域の中にいる子供」という意識が強くなればなるほど、子供の居場所が増えることに結びつきます。

そこで、本校ができる取組について、その第1弾として11月28日(土曜日)10時から14時(予定)まで本校を会場として『朝霞一中校区ふれあいまつり』を開催いたします。ふれあいまつりは、昨年度までは一中校区の3つの小学校と中学校が会場を持ち回りにして行っていましたが、今年度一中校区はそれぞれの小学校ごとに開催することとなりました。本校では、地域で子供を育てる意識を醸成し、地域の教育力を活性化させるために、PTAと一緒にタッグを組みながら、町内会様、市内高校、開放団体様、商店会様はじめ、六小がお世話になっている多くの団体様に声をかけ、参加依頼をさせていただきました。



(第1回ふれあいまつり実行委員会の様子)

全体のイメージは、校庭で模擬店や農作物の販売、開放団体主催のゲーム、体育館ステージでは、吹奏楽や演目の発表、多目的室での物品販売といった内容を考えています。先週の26日、第1回の顔合わせの会議を行い、趣旨を説明させていただき、あらためてご協力をお願いいたしました。

このふれあいまつりは学校の子供たちと地域を結ぶ懸け橋となる大きな行事です。子供たちにとって地域を身近に感じ、朝霞の良さや人とのつながりを肌で感じてほしいと願っています。

今学期も、朝霞第六小学校は子供を真ん中に考え、成長を支え、励まし伸ばしていきます。保護者の皆様には2学期も本校の教育活動に、どうぞご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。